

4 埼玉県

さくらと展望と岩壁 おごせ 越生ふれあいの里山 さとやま

宇山清太郎

[歩程]	3時間
[交通費]	1400円(池袋起点)
[地図]	越生(2万5千) 東京(20万)

越生の大高取山の東方、旧西山国有林107鈔は「越生ふれあいの里山」に生まれかわり、コースも整備された。支陵の東端に植栽された虚空蔵尊さくら公園から大高取山と幕岩展望台を回遊してみよう。この山域ではオオタカの飛翔を見た人もいる。

越生駅を出て左の踏切で右折し県道

を横断、突き当たりの狭い道を左へ行く。道標に従って梅園の多い上野2区を通り抜ける。

虚空蔵堂の下にいたら石段または右手のトイレ横の巻き道を登り、虚空蔵尊にお参りし、巻き道の続きを裏山のさくら公園に登る。

07年に造成された山の斜面に、100近い品種の桜が植えてある。ソメイヨシノ単一植栽地のように一斉開花はないが、4月中旬から連休にかけて楽しめるだろう。

北に西山高取と、いまは一軒になった山上集落山路を見上げ、東と南に展望が開けている。

頂上の石地蔵から西の方向に頭の赤い杭と火気注意の標識を見つけ、林の中の尾根道に入る。

埼玉県二級基準点や金比羅奥の院の石祠を見て西へ進む。分岐が数箇所あるが、左右の谷に下らぬよう登って行く。コンパスで確認しよう。

道幅が広がり緩やかになると、「松ぼっくりの尾根」の解説板がある。南

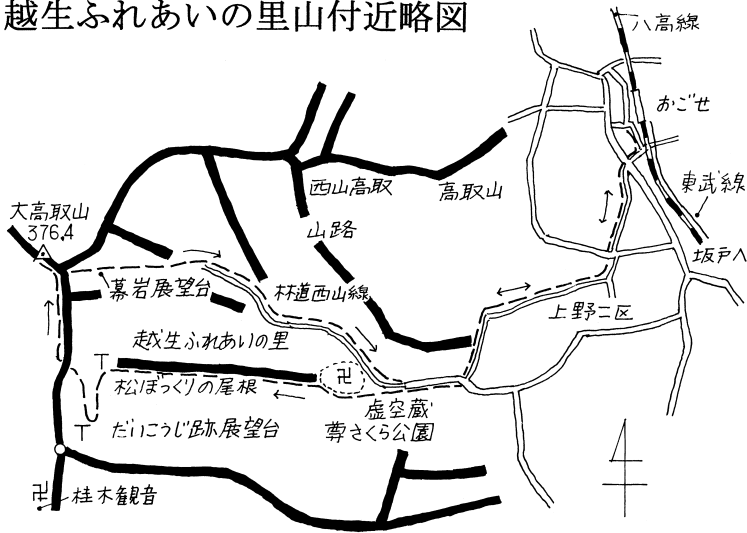


虚空蔵尊さくら公園から西山高取と山路集落

斜面は国有林時代に植えられた外来のテーダ松の林で、大きく長い松ぼっくりが見られる。

緩やかに登り続け、道標の地点を左へ、ほぼ平坦な道を行くとすぐのだいてこうじ跡ふれあいの里山展望台は、南—東—北へ展望が開け、さいたま新都

越生ふれあいの里山付近略図



心が見える。案内板や休憩用の丸太もある。
道標で大高取山方向へ登り、二つ目

の分岐を左に登り、大高取山と桂木山を結ぶ縦走路に出て右へ行く。
道標の多い大高取分岐では大高取山

376・4の三角点を往復し、幕岩展望台方向へ木段を下る。

幕岩展望台は標高約300m・高さ16m・幅35mの

岩壁の上だが、ここから岩壁はのぞけない。新編武蔵

風土記稿には、「上野山の上

にあり、高さ3丈、長さ50間許、形幕を張りたるが如し」とある。

南・東・北に展望が開け、狭山の西武ドーム・新宿副

都心・サンシャイン60・東京スカイツリー・筑波山が見え、西山高取を仰ぎ見る。

右手の柵沿いに急な木段を下るとルートは左右に分

かれる。左に仰ぐ岩壁のすそを通り、やや急な一直線

の谷道を下れば間もなく西

山林道と合流する（のんびり歩きただければ分岐を右に行き、往路のコースに合流してさくら公園に戻ればよい）。

西山林道を下り、巨岩博打岩や弁慶の手玉石を眺めて行くと、さくら公園の駐車場に出る。すぐ先の丁字路（林道西山線起点）で往路と出会い、左折して越生駅へ向かう。

なお、越生には鼻曲山の南にも幕岩がある。

（11年4月24日(日)ほか歩く）

●コースタイム

越生駅—30分—虚空蔵堂—8分—さくら公園頂上—30分—だいにうじ跡—15分—縦走路—7分—大高取分岐—三角

点往復12分—大高取分岐—15分—幕岩展望台—20分—林道西山線—18分—虚空蔵堂下—林道起点—25分—越生駅

●費用
池袋⇨越生 東武 700円

●問い合わせ先
越生町観光協会

049-292-3121